

報道資料

発表日：令和2年2月26日
問合せ先：農林部畜産課
億、高田
0742-27-7448(内線3881)

沖縄県うるま市におけるCSF（豚熱）発生 （国内57例目）に伴う県内での対応について

2月25日に、国内56例目の移動制限区域内にあり監視対象となっていた沖縄県うるま市の農場において、国内57例目のCSFが発生しました。これに伴う本県での対応状況は以下のとおりです。現時点で、県内でのCSFを疑う異常は認められず、今後も引き続き情報把握に努めてまいります。

1 発生を受けての県内での対応

- 家畜保健衛生所が豚・いのししの県内飼養者（17戸※）に対し、電話と広報紙による注意喚起を実施
＜調査事項等＞
異常の有無の確認、飼養衛生管理の再確認、早期発見・早期通報の再徹底
- 家畜保健衛生所が定期的に豚・いのししの県内飼養者に対して立入し臨床検査実施
- 緊急野生いのしし対策として、県内農家が実施するネットフェンスの設置に対する補助
- 県HPに「注意喚起」の文書を掲載
- 農林部内を中心として、発生状況・対応状況の情報共有

※県内飼養者 合計17戸（5,799頭）
（豚11戸（5,783頭）、いのしし・ミニブタ6戸（16頭））
※1月30日に県内の飼養豚に対するCSFワクチンの接種完了（初回接種分）

2 報道機関へのお願い

- 1) CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。
- 2) 各農場への取材は、本病を含む家畜伝染病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むようご協力をお願いいたします。
- 3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、ご協力をお願いします。

3 その他

CSFは、平成30年9月に岐阜県内の豚で国内では26年ぶりに発生し、これまで岐阜県で22例、愛知県で18例、三重県で1例、福井県で2例、埼玉県で5例、長野県で2例、山梨県で1例、沖縄県で5例、それ以外では、国内8例目の関連農場として長野県、岐阜県、大阪府、滋賀県で発生が確認されています。

なお、野生いのししにおいても、平成30年9月以降、岐阜県で1,166頭、愛知県で119頭、三重県で42頭、福井県で55頭、長野県で172頭、富山県で37頭、石川県で17頭、滋賀県で138頭、埼玉県で67頭、群馬県で20頭、静岡県で106頭、山梨県で5頭のCSF陽性が確認されています（2月21日現在）。